

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

(1) 未知なる舞台！ みんなで築く「あわ文化」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績				令和4年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4		
①鑑賞機会の 充実	○「はぐくみコンサート」 開催箇所数 H29：1箇所→R5：15箇所 (累計)	3箇所 (累計)	6箇所 (累計)	9箇所 (累計)	12箇所 (累計)	15箇所 (累計)	2箇所 (累計)	2箇所 (累計)	2箇所 (累計)	4箇所 (累計)	基本的な感染症対策を徹底した上で、「放課後子ども教室」にプロの演奏家を派遣する「わくわく！ジャズコンサート」を開催した。 ①R5.2.13開催、場所：佐那河内小中学校多目的ホール、参加者：43人 ②R5.2.19開催、場所：那賀町 相生体育館、参加者：41人 出演者（①、②共通）：SEBE JAZZ GROUP 上田浩之 QUINTET	幼少期から文化芸術への関心を醸成するため、音楽をはじめとした文化芸術に身近にふれあえる機会を創出する。
②県民主役の 文化活動	○「とくしま夏の音楽祭」 参加者数 H29→年間：2,200人以上	2,200人 以上	→			2,350人	0人	0人	430人	基本的な感染症対策を徹底した上で、県民主役のクラシックコンサートを実施した。 ○「とくしま音楽祭 SUMMER CONCERT 2022」(R4.8.28) 会 場：徳島文理大学むらさきホール 出演者：徳島中学校オーケストラ部 徳島交響楽団 株木清夏（徳島音楽コンクールグランプリ受賞者） 住友紀人（※小松島市出身）スペシャルユニット	県民が文化芸術に触れ親しむ機会を拡大するとともに、発表機会を創出し、県民主役の文化活動を促進する。	
③文化活動に よる共生社会 の実現	○障がい者芸術の全県展開 「共生アートプロジェクト」 H29→R2：創設		創設	推進	→		創設	推進	推進	推進	全県下を対象とした、障がい者芸術の理解促進イベントを実施した。 (1) 支援体制の充実 徳島県障がい者芸術・文化活動支援センターと連携し、相談窓口設置、人材育成、ネットワーク作りを実施 (2) 障がい者の発表機会の確保 ①「障がい者アーティストの卵」発掘展の開催 日時：R4.8.31-9.4 場所：徳島県立近代美術館 ギャラリー 内容：障がい者アート作品を公募し、115点展示 (717名来場) ②この素晴らしき世界ー希望の園作品展ー（アール・ブリュット展）の開催 日時：R5.2.10-26 場所：徳島県立近代美術館 内容：特定非営利活動法人希望の園（三重県松阪市）で制作された ・利用者の作品展示 ・学芸員による展示解説 ・理事長によるゲストトーク を実施（1209名来場） ③「みんなのはっぴょうかい」 日時：R5.3.22 場所：徳島県立二十一世紀館イベントホール・YouTube配信 内容：障がい者が属するグループによる 音楽、ダンス、パフォーマンス等の舞台芸術の発表	引き続き、 ・県内事業者からの相談対応 ・芸術文化活動を支援する人材の育成 ・関係者のネットワーク作り ・障がい者の発表の機会確保 ・舞台芸術の取組支援（ワークショップ・発表会の開催）を実施する。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

(2) 未知なる開花！ 根付き、育てる「人材・才能」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績				令和4年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4		
①「あわ文化」発展への顕彰の実施	○「徳島県文化賞」はじめ県、財団による顕彰の実施 H29実施→継続実施	実施	→				実施	実施	実施	実施	徳島県、(公財)徳島県文化振興財団により表彰を行った。 ○徳島県による表彰 ・徳島県文化賞 徳島彫刻集団(美術・彫刻) (R4.11.8) ・阿波文化創造賞 山本 貴子氏(音楽・ピアノ) (R4.11.11) ・徳島県表彰 吉田 尚行(木偶制作・人形師) (R4.6.6) ○徳島県文化振興財団による表彰(R5.3.28) ・とくしま芸術文化賞 檜 千尋(民俗芸能・舞踊) 下 時治郎秀臣(美術・洋画) 内藤 順子(演劇) ・とくしま芸術文化奨励賞 石井 琢磨(音楽・ピアノ) 小川 典子(音楽・声楽)	県内の文化芸術活動の振興のため、功績のあった方々を顕彰する。
②文化芸術団体の活性化	○「文化アドバイザー」派遣回数 H29→年間10回以上	10回	→				10回	0回	0回	0回	県内芸術文化団体の文化活動を活性化させるとともに、新たな文化活動への取組みを支援するため、各団体に文化アドバイザーを派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。	県内の文化芸術団体の更なる活性化を図るため、様々な形での情報発信を行う。
③文化活動への若者参加の促進	○各分野で活躍する芸術家による「中学生ワークショップ」の開催 H29→R1：開催	創設	推進	→			開催	中止	中止	開催	11月に「第8回徳島県中学校総合文化祭中央大会」の開催イベントとして、「ふれあいワークショップ」を開催した。鈴木良治氏を講師に迎えてワークショップ「ふしぎな版画 リトグラフ」を行った。 実施日：令和4年11月19日(土) 場所：近代美術館アトリエ・講座室 参加者：17名	今年度も11月に「第9回徳島県中学校総合文化祭中央大会」の関連イベントとして、「ふれあいワークショップ」を開催する。松垣 健氏を講師として「“光と影 ドットで創る 竹灯り”」を実施予定。

(3) 未知なる創生！文化の力で「まちづくり」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績				令和4年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4		
①地域づくり・地域団体への支援	○地域の文化資源の保存・継承等に取り組む団体への支援数（累計） H29:30事業→R5:150事業	30事業 (累計)	60事業 (累計)	90事業 (累計)	120事業 (累計)	150事業 (累計)	51事業 (累計)	84事業 (累計)	145事業 (累計)	198事業 (累計)	県民の文化活動を促進する支援として、 ・あわ文化の担い手育成 ・多様な主体が創造性を発揮する活動 ・県民が主体的に参加し、あわ文化の振興や新たなあわ文化の創造などに 取り組む市町村や文化団体等に対し、「とくしま文化・未来創造支援費補助金」を交付した。 【令和4年度・補助実績】 補助率：2/3、補助額（上限）1,000千円/件 件数：53事業、補助金額：26,890千円	地域に根付いた文化資源を保存・継承する活動を支援する。
②地域文化を通じた郷土愛・地域愛の醸成	○文学書道館等、拠点となる文化施設での講座開催回数 H29：125回→年間130回以上	130回以上	→				134回	75回	105回	122回	文学書道館における文学や書道関係の講座のほか、阿波十郎兵衛屋敷における鑑賞講座や生け花などの文化講座、あわぎんホールにおける郷土文化講座や阿波木偶制作教室などを開催し、県民が文化に触れ、親しむ機会を創出した。 新型コロナウイルス感染症の影響は続いていたが、感染症対策を徹底した上で、各種講座を開催し令和3年度に比べると開催回数は増加した。 ○文学書道館 56回 ○阿波十郎兵衛屋敷 19回 ○あわぎんホール 47回	多様な文化活動の場の提供により、徳島の文化活動の継続・発展を推進していく。
③「徳島ファン」の活用	○クラウドファンディング等を活用した文化保存・継承活動 H29→年間1件以上	1件以上	→				1件	1件	1件	1件	地域における文化財保護意識の向上を遍路道の保存継承活動を通じて図るため、「おもてなし遍路道ウォーク」を世界遺産登録推進協議会事業として実施した。	県民の文化財保護の機運を醸成するため、県民参加型の「札所寺院・遍路道」の保存継承活動に取り組む。

徳島県文化芸術推進基本計画の進捗状況

資料2

(4) 未知なる融合！文化と経済の「好循環」

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績				令和4年度の 具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4		
①文化資源の活用促進	○埋蔵文化財特別展示等の実施 H29→R1速報展、R2特別展示	展示 (速報)	展示 (特別)	展示	→		展示	展示	展示	展示	「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、「レキシルとくしま」において、埋蔵文化財速報展を開催し、県民の埋蔵文化財への関心を高めた。 ○埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」の実施 ・期間：R4.6.7～7.10 ・来場者：1,010人	県内での発掘調査の成果等を県民に周知し、埋蔵文化財への関心を高めるため、引き続き速報展や講演会を実施する。
②新たな文化の創造・発展	○徳島ならではの「eスポーツ」の全国規模の競技会・交流会の開催 H29→R4、R5開催				開催	→	-	-	-	開催	「年齢」「性別」「国籍」「障がいの有無」に関わらず、誰もが参加できるeスポーツを活用した「にぎわいの創出」や「ダイバーシティ社会」の実現を図るため、以下のイベントを開催した。 ①eスポーツ徳島県知事杯（栃木国体徳島県予選） ・開催日：令和4年7月17日（日） ・会場：徳島工業短期大学、四国大学 ・参加者：100名以上 ②チャレンジ！マチ★アソビ運動企画「eスポーツステージとくしま」eスポーツ×コスプレ対戦会 ・開催日：令和4年6月5日（日） ・会場：徳島市東新町商店街 ・来場者：約400人 ③「eスポーツステージとくしま」 ・開催日：令和4年10月15日（土） ・会場：徳島市東新町商店街 ・来場者：約600人 ④「eスポーツステージとくしま」（徳島eスポーツ協会主催「闘電街（とうてんがい）4」と同時開催） ・開催日：令和4年11月27日（日） ・会場：徳島市東新町商店街 ・来場者：約2,400人	「eスポーツ」を積極的に活用し、「にぎわいの創出」と「ダイバーシティ社会の実現」に向けた取組を推進する。
③文化による経済効果の発現	○徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした旅行企画 H29→R1実施	実施	→				実施	実施	実施	実施	○徳島市中心部から、吉野川を横断して阿波十郎兵衛屋敷等の文化観光施設へ向かう「水上タクシー」の運行 ・実施期間：R4.4.29～10.16、利用者数：1,132名 ○徳島ならではの伝統工芸品「遊山箱」と、生け花や人形の展示をセットにしたツアーを開催 ・実施日：R4.4.2(土)・3(日) ・会場：阿波十郎兵衛屋敷 ・内容：デジタル襖からくり特別上映、人形浄瑠璃定期公演、遊山箱の展示、遊山箱茶会、草月流による生け花の展示 ・参加者：4/2(39名)、4/3(77名) ○徳島の文化資源と水上タクシーを連携したツアーを開催 ①実施日：R4.8.6(土) ・場所：三ツ合公園 ・内容：遊覧船体験、船上花火鑑賞 ・参加者：遊覧船280名、花火鑑賞20名（完売） ②実施日：R4.10.22(土) ・場所：勝瑞城跡 ・内容：遊覧船体験、勝瑞城ガイドツアー、小笠原流弓術演武 ・参加者：遊覧船360名、ツアー19名（定員20名）	徳島の文化資源や歴史・伝統をテーマとした企画を実施する。

(5) 未知なる発信！「あわ文化」ブランドの創出

施策の展開	指標及び数値目標	工程（年度別事業計画）					実績				令和4年度の具体的な取組内容	今後の取組方針
		R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4		
①戦略的な情報発信	○観光情報サイト 総アクセス件数 H29：523万件→R5：620万件	540万件	560万件	580万件	600万件	620万件	275万件	529万件	584万件	856万件	観光情報の充実を引き続き図るとともに、SNS等を活用し「阿波ナビ」の周知に積極的に取り組んでいる。 令和4年度においては、目標値を大幅に上回る結果となった。 理由として、徳島旅行割や独自の上乗せ支援の実施、新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きが考えられる。 また、県内の観光資源や各種イベントに関する情報発信はもとより、新型コロナウイルス感染症による県内観光施設の休館状況などをまとめて掲載するなど、タイムリーに観光客のニーズに即した観光情報の提供を行ったことも理由の一つと考えられる。	今後も引き続き、情報発信力の向上に努めるとともに、常に観光客の目線に立った分かりやすい観光情報サイトづくりに努める。
②映像の効果的活用	○「あわ文化」の4K・8K、VR、5G等 新技術を活用したコンテンツの制作 H29—→年間3件以上	3件以上	→				4件	6件	5本	4本	阿波人形浄瑠璃の代表的な演目「傾城阿波の鳴門」に登場するお弓とおつるをモチーフとした人物等を登場させ、早めのテンポで構成した徳島の文化観光の推進につながる映像を日本語版と英語版で制作し、SNSで発信した。 【撮影場所】 藍の館、エディ、渦の道、水上タクシー	質の高い「デジタルコンテンツ」等を制作し、国内外に向けて魅力発信を行う。
③グローバル化の加速	○「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の海外公演及び指導者派遣回数（累計） H29：4回→R5：35回	15回（累計）	20回（累計）	25回（累計）	30回（累計）	35回（累計）	17回（累計）	17回（累計）	27回（累計）	33回（累計）	2022年10月の個人旅行再開により、オンラインだけでなくリアルで海外公演や指導者派遣を実施することで、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」等の魅力を広く世界に発信し、「認知度向上」や「徳島ファン」の拡大を図った。 ・在外公館と連携した阿波おどりの海外公演（1回） ・現地連と連携した阿波おどり公演（1回） ・JNTO等と連携した阿波おどりの配信（3回） ・「ドイツ・ニーダーザクセン州友好交流15周年記念事業」として、県内人形座を派遣し、阿波人形浄瑠璃の公演を実施（1回）	今後も、各国の情勢を注視しながら、在外公館や関係団体と連携を図り、本県が世界に誇る伝統文化「阿波おどり」「人形浄瑠璃」の積極的な魅力発信を行う。